



田辺・弁慶映画祭セレクション2024

2024年夏 開催予定

テアトル新宿 シネ・リーブル梅田 (4/19よりテアトル梅田に改称)

弁七ル

「田辺・弁慶映画祭セレクション2024」では、第17回田辺・弁慶映画祭で受賞を果たした若手新人監督にスポットをあて、特集上映を致します。注目のインディーズ作品を、作り手と送り手である劇場も手を取り合い、工夫を凝らしたラインナップで上映いたします。今、注目の若手新人監督が自ら全力で臨みます。是非、この機会に自分の目でインディーズ作品に触れ、評価、評論、そして議論をして下さい。これからの日本映画界の為に。

田辺・弁慶映画祭セレクション2024
@テアトル新宿 / シネ・リーブル梅田 (4/19よりテアトル梅田に改称)

主催：田辺・弁慶映画祭実行委員会 / 東京テアトル
田辺・弁慶映画祭公式サイト：<https://www.tbff.jp>

TANABE BENKEI FILM FESTIVAL

第18回



田辺・弁慶映画祭

コンペティション部門 作品募集

オフライン受付!

※要項・詳細は公式サイトをご確認ください。

【募集期間】
2024 4/12(金) ▶ 7/14(金)

映画祭開催日 2024 11/8(金) 9(土) 10(日)

弁慶グランプリ 賞金 30万円
(キネマ旬報賞も同時受賞)

キネマイスター賞 賞金 5万円

観客賞 賞金 5万円

俳優賞 賞品

《特別設置賞》

映画.com賞 副賞

フィルミネーション賞 海外進出支援 10万円分

わいず倶楽部賞 副賞

「テアトル新宿」「シネ・リーブル梅田」(4/19よりテアトル梅田に改称)で上映される作品も!(予定) あなたの作品が劇場公開されるチャンス!!

田辺・弁慶映画祭実行委員会事務局
TEL.0739-26-9929 [tbff](https://www.tbff.jp) 検索



『 99%、いつも曇り 』

一葉ちゃんは、もう子供は作らないの？

歳を重ね子供は作れないと言う楠木一葉。だが、夫の大地は子供を欲しがっていた。前向きになれない一葉は、自分がアスペルガー傾向にあることに悩んでいた。ズレる2人。

監督・脚本・制作・出演：瑚海みどり 撮影：須藤しくま 音楽：34423 録音：三村一馬
美術：求愛行動 / yui 衣装：栗田珠似 ヘアメイク：渡邊夏生 制作・出演：永橋 あゆ美
出演：二階堂 智、Ami Ide、KOTA [110分] ©35 Films Parks



監督	
瑚海みどり	さんこうみ みどり
プロフィール	
俳優、声優として活動中。2020年より映画制作を学ぶ。第34回東京国際映画祭・テイクワン賞では、当初予定されていなかった審査員特別賞が急遽設けられ受賞。	
正式出品	
2023年・第36回東京国際映画祭 Nippon Cinema Now	
DIRECTOR'S COMMENT	
「この映画が誰かの心の支えになれば、そんな嬉しいことはないと思っています。是非、観に来て下さい！」	



『 ロマンチック金銭感覚 』

お金ってなんだろう？

映画監督である龍蔵と麻悠は、働けど働けど常にお金がない貧乏監督コンビだ。その理由は売れない自主映画を定期的に作り続けているから。生活費も底を付いたある日、二人は映画作りには避けて通れない「お金」について考え始める…

監督・脚本・編集：緑茶麻悠、佐伯龍蔵 撮影：加藤アラタ、栗原 徹、西岡空良、高木陽春
協力：廃材エコヴィレッジゆるゆる、非常利株式会社 eumo 出演：湯山大一郎、傍嶋飛龍、江頭一晃、新井和宏、武井浩三 [115分] ©まちのレコード



監督	
佐伯龍蔵	さえき りゅうぞう
緑茶麻悠	りょくちゃ まゆ
プロフィール	
関西在住の映画作家の2人。今までは個々で作品を監督していたが、本作を共同監督作として初めて手掛ける。過去の作品として佐伯は長編映画「あそびのレンズ」、緑茶は短編映画「wind chime」などがある。	
受賞歴	
2023年・東京ドキュメンタリー映画祭 2023 長編部門 準グランプリ	
DIRECTOR'S COMMENT	
「あらゆる社会問題の根源はお金のあり方です。格差社会を助長している現実には私たちはとても腹が立っています。様々な経済圏があっという間、別の仕組みのお金があってもいいんじゃないか、そんな希望をもって二人で悩みながら本作を作りました。今の時代をどう生きるべきか、観客の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。」	



『 ラストホール 』

“忘れられない”を乗せて走る。

父親の死から背を向けて生きてきたダンサーの暖。6年後のある日。踊ることを辞めた暖は故郷からやってきた幼馴染の壮介によって、父の残した一枚のメモを辿る旅へと連れ出され、やがて咀嚼できない思いを飲み込んでいく。

監督・脚本・出演：秋葉美希 撮影：松田 亘 照明：藤井光咲 音楽：春木真里奈 録音：竹内勝一部
タイトル：津田珠蘭 助監督：可見正光 制作：鹿江莉生 出演：田中突一郎、高尾悠希、鈴木卓爾、川瀬陽太 [71分] ©PURIE



監督	
秋葉美希	あきは みつき
プロフィール	
2017年京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)映画学科俳優コース卒業。主な出演作に「退屈な日々にさよならを」/今泉力哉監督、「少女邂逅」/枝元花監督、「赫くなれば其れ」猫目いち監督などがある。映画を中心に活動する俳優であり、本作が初めての長編監督作である。	
DIRECTOR'S COMMENT	
「大切な誰かが居なくなってしまう時、それを“乗り越えられない”という人生を、生き方を、描こうと思いました。もうこれ以上はきつくない暗い深い闇に落ちてしまったとしても、忘れられないまま、ただそこに居ればいい。この作品がそんな誰かの人生に、寄り添える瞬間を産み出すことができたのなら、それだけで私は充分幸せです。」	



『 ゴミ屑と花 』

当たり前過ぎて見えなくなったもの、失いかけていたものを取り戻す。

パイロットを辞め、ゴミ収集の仕事始めた浩一。指導員・花と共に深夜のゴミ収集を始める。ゴミを回収していく中で様々な人の眼差しを受けながらも、ひたむきに働く花に浩一は生き方にある種の『美しさ』を感じる。

監督・脚本：大黒友也 脚本：小谷香織 撮影：佃 友和 照明：竹森哲平 録音：荒武美紗子
ヘアメイク：石部順子 整音：茂木祐介 編集：吉川智也 音楽：今村左閔 出演：植木祥平、花柳のぞみ、岩本 淳、木村知貴、ステファニー・アリアン [30分] ©OHGURO FILM



● 併映作品 (撮り下ろし新作)
『ユウジーツ!! (仮)』
あと一度しかボクシングができない男が、ボクシングでやり残したことに挑戦する物語 [20分予定]

監督	
大黒友也	おおくろ ともや
プロフィール	
1987年愛媛県生まれ。日本映画学校 映像学科 (現・日本映画大学) を卒業後、演出部として映画業界に入る。日本映画界を牽引する中田秀夫監督、黒沢清監督、三池崇史監督、三島有紀子監督たちの現場で助監督を務め、多数の映画・ドラマに就く。今回は初監督作品となる。	
受賞歴	
2023年・第36回東京国際映画祭 Amazon prime テイクワン賞 ファイナリスト 映画連アワード 2023 パーソナル・コミュニケーション部門 部門優秀賞受賞 第24回 TAMA NEW WAVE ある視点部門 ノミネート 第21回 うえだ城下町映画祭 柘植靖貴賞 受賞 第18回 那須国際短編映画祭 2023 観客賞 フィルムコミッション賞 第29回 函館イルミナシオン映画祭 ショートムービーコンペティション観客賞受賞 Montreal Independent Film Festival / ノミネート NICE International Film Festival / ノミネート Los Angeles Independent Film Festival Awards / ノミネート	
DIRECTOR'S COMMENT	
「同じ様な日々を繰り返す、それはつまらないこともありません。しかし、だからこそ見える大切なこともあると思います。これは誰しもが持つ、ありふれたものを再発見する、ある一夜の物語です。」	



Comment

まず第一歩を踏み出そう

世界の映画祭、映画賞で高い評価を受けている日本映画ですが、それぞれの監督、プロデューサーたちの最初の一步は小さなものでした。その小さな一步を目指す人たちは田辺・弁慶映画祭は応援します。映画祭に選出された監督、プロデューサー、俳優などの関係者の方々とは、その年のゲスト審査員の監督やプロデューサーとのミーティングの時間を設けて、映画の作り方だけでなく、どのように映画人として、この世界と向き合っていくかを話し合います。昨年の第17回弁慶映画祭では8作品がファイナル上映に選出され、瑚海みどり監督「99%、いつも曇り」、緑茶麻悠・佐伯龍蔵＝共同監督「ロマンチック金銭感覚」、大黒友也監督「ゴミ屑と花」、秋葉美希監督「ラストホール」が受賞しました。その後、受賞した4作品の監督はじめ関係者とは、テアトル新宿とテアトル梅田で開催される弁慶セレクション上映までの数ヶ月間、我々審査員と、東京テアトルの劇場担当者、宣伝担当者をお互いに交え、プロフェッショナルのチラシ、ポスター制作のノウハウ、宣伝方針の立案、その後の劇場配給、さらには海外映画祭への出品について会議を行います。これは毎年恒例の流れですが、受賞者の方々には普通では学べない貴重な経験となっています。ここまで受賞者と関わる映画祭は、他に例は少ないと思います。このように、弁慶映画祭は、情熱をもって映画に向き合う人々を応援します。やる気のある方々の応募をお待ちしています。一緒に、映画界での活躍を目指しましょう!!

掛尾良夫 (田辺・弁慶映画祭 プログラミング・ディレクター)

Schedule

テアトル新宿 | 2024年夏開催予定 レイトショー連日1日1回上映

シネ・リーブル梅田 (4/19よりテアトル梅田に改称) | 2024年夏開催予定 レイトショー連日1日1回上映

Ticket (全プログラム同一)

一般・大専 1,500円 シニア 1,300円 水曜サービスデー 1,300円

その他各種割引適用可

☆キネマ旬報社・映画検定1～4級の方 証明書持参で1,300円

☆前売券は劇場窓口等で各作品毎に販売予定 (価格 1,000円) ※作品により前売券の取り扱いがない場合あり

イベント・上映作品・時間等の詳細は劇場または映画祭ウェブサイト、X (旧Twitter) をご参照ください

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣B1F
〒〒テアトルシネマグループ
テアトル新宿
03 (3352) 1846 ttcg.jp

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト 3F
〒〒テアトルシネマグループ
シネ・リーブル梅田
(4/19よりテアトル梅田に改称)
06 (6440) 5930 ttcg.jp